

## 令和7年度第7回検討委員会議事録

1 日 時 令和8年3月16日(月) 午後3時30分～

2 会 場 合志市立西合志中学校 視聴覚室

(事務局 1)

お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから令和7年度の中学校部活同第7回本討委員会を開始したいと思います。まず、生涯学習課 課長がご挨拶を申し上げます。

(課長)

皆さんこんにちは生涯学習課長渡辺です。よろしくお願ひします。本日はお忙しい中にご参加いただきまして誠にありがとうございます。まず初めに前回の検討委員会でこちらの事務局側の準備不足ということもありまして、説明の中で先生方と委員の皆さんの混乱を招いてしまったということで、こちらにつきましては、お詫び申し上げます。またの令和8年度からですね、地域展開をスタートさせるというところでお話をしておりましたけれども、こちらにつきましても、まだちょっと準備が整っていないということで、令和9年度からになるということで、こちらにつきましても、あの大変ご迷惑をおかけしております。今回は、第7回目の検討委員会ということで、令和13年度までの全体のスケジュールと、令和8年度の詳細のスケジュールを、改めてご説明をさせて共有させていただきたいと思ひます。時間をかけさせていただきます分、より良いものができるように、進めていきたいと思ひしておりますので、委員の皆様のご協力と、また本日の会議のご指示のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。本日はよろしくお願ひいたします。

(事務局 1)

ありがとうございました。続きまして、議長を選出したいと思ひますがされる方はいますでしょうか。なければ、事務局の方にお任せいただけますでしょうか。議長様よろしくお願ひします。

(議長)

はいではよろしくお願ひします。前回はですね。1時間程度だったがかなり伸びましたので、今日は予定通り進めさせていただけたら助かります。ではですね、レジュメの方をご覧ください。最初にこれまでの経過の中で決まったこと報告事項ということをして最初にその後で協議事項という風に移っていききたいと思ひます。まず報告事項については緒方先生の方からよろしくお願ひします。

(事務局 1)

はい失礼します。前回の検討委員会を経て、また各学校の方もご訪問させていただいて、確認した部分をお知らせします。まず合志市における中学校部活動の地域展開開始につきまして、これまで検討委員会等での協議の結果、令和8年度から開始予定でしたが、地域ポーター等の予算も関係してくることで、今後国から補助金関係も出てきましたので、いろいろ細かいところを進めていかななくてはいけないということになりまして、申し訳ございませんが令和9年度からの運用開始にしたいと思ひしております。続きまして、地域サポーターに関しまして現在各学校で外部指導者として指導されている方につきましては、令和8年度も同様に学校から委嘱して、学校からの謝金を払っていただくことになると思ひます。加えて、市の地域サポーターバンクにも登録をお願ひしております。また、各学校でさらに外部指導者の希望があれば、事務局に依頼していただき、適任と思われる人を紹介いたしますが、外部指導者につきましても、8年度までは委嘱または謝金に関しましては、学校の方からお願ひしたいと思ひしております。続きまして、アプリのモデ

ルについてです。各学校から 1 部活 20 名程度、部活を 2 部選んでいただいて、事務局に連絡していただければと思います。できれば外部指導者がいる、または教師が地域サポーターに登録しても良いという部を選んでいただければと思っております。全体で 100 名程度の会員でアプリの試行をしていきたいと思っております。1 年間試行しまして改善点などを業者と連携しまして、もしそれが使えないと言いますか、もっといいところがあるというのであれば、また別の方法をしていきたいと思っております。最後に意向調査についてです。令和 8 年の 4 月から 9 月にかけて地域移行型部活動を見据えた意向調査を行っていただきたいと思っております。拠点校としての受け入れの可否や合同部活動の希望とかまたは廃部または休部などの予定などについて各学校にお尋ねしますので、それをもとに 9 年度から地域展開に役立てていきたいと思っております。いろいろとご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。なおレジュメの 1 枚目をめくっていただきますと各学校で先生方に報道していただく内容を書いておりますので、これを各学校で報道していただければと思っております。私の方からは以上です。

(議長)

はい前回までの経過それから決定事項について報告していただきました。よろしいでしょうか。

(事務局 1)

はいじゃあすみません付け加えて 2 枚目の意向調査のほうも 4 月から各学校にお諮りしたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。では続きまして、協議事項についての説明を事務局の方からしたいと思います。

(議長)はいじゃあ事務局お願いします。

(事務局 2)

平日部活動の地域展開ロードマップ令和 7 年から 13 年。段階的な試行・拡大により令和 13 年度の完全と目指すという形で全体を作ってまいりました。はいこちらの方がその段階的なスケジュールになります。まず令和 7 年度から 8 年度ですね。こちらにかけて地域展開に向けた仕組みづくりの方をしたいと考えております。具体的には財政面の整理、指導者の確保活動場所の調整、保険など運営に必要な体制を整備していきます。その後、令和 9 年度から 1 部の部活動を対象に地域展開を順次開始していきます。最初は限定した形で試行し、状況を見ながら段階的に拡大していく予定です。上の方に書いてある部分ですね。2 部活 4 校というのがこれが目標で年間だんだん増えていけばいいなと考えております。それを経て令和 13 年度は休日の部活動について地域展開の完成。休日の方ですね。を目指しております。なお対象となる部活動や実施の方法については、学校の状況も踏まえながら、今後検討していこうと思っております。あくまでも急激な変化になるものではなく、試行しながら段階的に進めていく取り組みとなりますので、今後とも学校の先生方と協力しながらやっていきたいと考えております。続きまして、令和 8 年度のスケジュールになります。ですね。この図は中学校の地域展開の現時点から 8 年度、準備の段階のところの詳しいスケジュールを作らせていただいております。主な流れは制度や予算の準備、地域指導者や団体の確保、学校保護者への説明、一部の部活動でアプリの試運転という段階で進めていきます。令和 8 年度は制度設計と準備説明、試行や地域サポーター確保を進めながら、本格実施に向けて進め、整える計画をする予定になっております。真ん中あたりに線が入っているかと思うのですが、ここが市の予算関係の締め切りのラインになります。次年度お金をかけてやることに対しては、ここまでに決めなくてはならなくなります。ここまでに全部制度や仕組みを整理して、次年度の実施に向けて体制を整えていきます。保険や安全面で、一応この黄色にてあ

る部分。ここが絶対令和 9 年度。完全実施するための決めなくてはいけない課題になっております。保険や安全管理については地域で活動する場合も、安全面には十分配慮し、保険加入や指導者研修などの仕組みを整えていこうと考えております。地域指導者についても、研修やルールを整備し、安全に活動できる体制づくりを作っていきます。先ほども言っていますが、学校の状況を踏まえながら、無理のない形で段階的に進めていけたらと考えております。よろしく申し上げます。

(議長)

ここまで説明の中でご質問等ありますか。大丈夫ですかね。はいじゃ続けて申し上げます。

(事務局 2)

続きまして、サポーターバンクについてです。現在地域サポーターバンクを持ち上げています。謝金の支払い方法や規則等の整理がまだ充分ではないため、現時点ではすぐ派遣する体制になっておりません。そのため、令和 8 年度につきましては、学校が直接委嘱する外部指導者として指導いただく形を基本とし、サポーターバンクの登録者を各学校へ紹介・斡旋していこうと思っております。その形がこちらですね。今現在登録者が 36 名となりました。現在学校で外部指導者として指導している方を除いていくと、下の 21 名という形になります。本日ですねこの後ろの方ですけど、名簿が付けてあるかと思うのですが、そちらを見ていただいて、そのデータを後日、学校の方にはお送りします。そこで、データを送りますので、そこにこの指導者に声をかけたいないうところにチェックしていただいて、事務局の方に返信してください。サポーターバンクの雇用としては、令和 9 年度からになりますので、令和 8 年度は登録者に学校の方で委嘱していただき。謝金は学校の支払いという形を取っていきたいと思います。登録者に複数の学校から依頼が来た場合は、事務局から登録者の方に電話をしまして、1 つ選んでいただき、交渉して 2 ついいよと言え 2 つなのですが、ちょっと直接お話をして、アポを取っていいですよっていう状況を作って、また学校の方にお知らせして、学校の先生方から直接連絡を取っていただくという形を作ろうと思っております。そちらが指導者斡旋のスキームになります。

(議長)

今の説明は良かったでしょうか。

(委員 1)

学校でお願いする場合、期間というのは年中。

(事務局 2)

4 月から 3 月まで。

(委員 1)

希望する方にチェックをするのですね。異動済んで、部活動の配当がいろいろ決まってから多分動くことになると思うのです。

(事務局 2)

前回学校を回った時に、5 月に委嘱をするというふうにお伺いしたので、それまでに先生たちに見ていただいて、部の構成も考えながらで、この人に声をかけたいというのを事務局の方に返していただくと、そこで調整していこうと思っております。

(委員 1)

その後のやり取りはまた今から説明が。

(事務局 2)

その後はとりあえず令和 8 年に関しては、今の外部指導者と同じ扱いで、学校の方から委嘱を出して、年度末に謝金を払っている。将来的には全部サポーターバンクの方で運営になるので、それをまあ令和 8 年度で決めていくところなのですが、謝金の設定だったり補助金が入ってきたりとか色々ありますので、そこを決めて 9 年度からはこちらサポーターバンクの方の雇用にする目標です。

(委員 1)

その時は、面談とかもされる。

(事務局2)

はい、こちらで全部します。

(委員 1)

それまではまだ面談せずに我々の従来やっている方法で委嘱をしていく。

(事務局2)

先生方で見えていただいてどうかということを確認していただきました。

(議長)

令和 8 年度については、今までと同じようなやり方ということでしたそうです。令和 9 年度からクラブの方で委嘱をするという形になるのですね。そのためにも 9 月までに議会から予算をとらないといけませんからね。9 月までに大体の形を作りたいというようなことだと思います。はいでは続けてお願いします。

(事務局2)

はい次ですね。アプリの試運転についてとなります。本日までに先生方に部活動を 2 部活考えてきてくださいとお願いしていたかと思うのですがいかがでしょう。決まりましたでしょうか。ちょっとお伺いしても大丈夫ですか。

(委員 2)

文書で依頼がありましたっけ。文書で出していただくということですよ。文書が来てから依頼が来るということ次行うことは、文書で来るということで前回の会議決まっていたんですけど、その依頼はありましたか。

(事務局 1)

文書は出していません。

(事務局2)

その前に学校を全部周り、直接お話ししたのでそれで、皆様にご理解いただけたと思ったのですが、すみません。では、一度文書を出しましょうか。それに返事を書いていただくという形でよろしいですか。サポーターバンクの名簿を学校にメールでお送りしますので、その時に一緒に部活の候補を書いていただくフォームを書いてお出ししますのでお願いいたします。一応ですねアプリのスケジュールですね。こちらの方がアプリの試運転は中体連が終わった後、1、2 年生の方を対象にやっというと考えております。4 月から 6 月までにアプリについての説明やアプリの登録というのをやっというと考えております。中体連が終わった後にアプリの試運転を開始します。こちらの試運転によって一応事務局でその部活をどう取りまとめるか、外部指導者の勤怠管理をその部での連絡網の取り方というのを検証していっというと考えております。以上です。何かご質問。

(委員 2)

アプリでできることをもう一回、簡単に説明してもらっていいですか。

(事務局2)

本来ならですね、お金を集金する機能もあるのですが、8年度は事務局での取りまとめと外部指導者の勤怠管理と連絡網をします。本来このアプリでできることは、これにプラスして集金機能がついています。お金の管理ですね。部費だったり校納金だったりをこれで集めてこちらで支払うところまでがついているアプリにはなりません。今回、令和8年度にそこが決まっていないので、お金のことを触ることができませんので、とりあえずこの3つに関して検証していこうと考えております。

(委員2)

それは部活動できなり始めるのではなくて、例えば教職員の中の連絡網として最初に使ってみることはできないのですか。その私たちが使うものが、どんなものかもよくわからないままスタートするよりも教職員で一回使うことができるのであればというところがちょっと思ったので、全然そういったその説明を聞いたとしても想像がついてない。例えば、お金集めにしたって、教職員のお金を集めるの、それで集めてみるとかですね。そういったことが可能ならば、私たちもうちょっと想像がつくのかなと思ったのですね。

(事務局2)

もちろん触っていただく。これと同時進行で先生方の方も使っていただくのは大丈夫ですし、一応ですね。この業者とずっと打ち合わせをしているのですが、100名程度20名を5つ部活ぐらいを対象に試運転をして試してみるのが一番参考になりますよっていう話があったので、2つをそのまま対象にしていこうというふうに考えています。

(委員2)

もし、可能ならとちょっと思ったところで。

(事務局2)

説明の時はそういうことができるのですが。

(委員2)

正直ですね、本校職員会計のお金をどうやって集めるかというところ色々検討して、電子決済で考えているのですが、そういったシステムがもともとあるのであれば、そういったところを利用してやっていければ、結局は先生方のアプリの利便性の良さがそういったことが理解できるので、入れることに対してのこうやってできるのだということが分かれば、やりやすいと思います。全然わからないのをさあ、入れてくださいって言われてもいや、そんな面倒くさいことはちょっとしたくないところが多いので。

(事務局2)

元々、クラブこうして練習としてやってみないかというのは、業者の方でも言われていたので、多分その先生方でちょっと練習をしてみたいというふうに言えば大丈夫だとは思いますが。他の先生方がそれをするのはどうですか。お金がかかってきます。年間990か。

(事務局1)

100名分の予算は、こちらで確保しているので各学校に2部活ずつぐらいということで

(委員3)

質問していいですか。1学校2部活程度のアプリ試運転ですけど。例えば、外部の指導者が入っていない部活等でやることも可能ですか。

(事務局2)

可能です。一応希望です。こういう人たちがそのまま来年 9 年度に説明せずにそのまま継続して使えるのが一番いいかなと思ったので、こういう案を出させていただいています。でもいやうちはこの学校この部で試したいとおっしゃっていただければ、じゃあそこでというところはできますので。こちらの要望です。

(議長)

4校の2部活ですから8部活活ですよね。8部活を予算は確保している 1人 980円だから 1000円近くのがかかるわけですね。100人分は予定しているということですので、それで試しをしよう。でも、一部活に 50人とかいたらですね。

(事務局2)

そこは、1で大丈夫です。そこ 1で 50人の部活で試してみたいって言われるなら。大体希望を出していただければ全然もうちょっと多くなる分もどうにかなりますし。そこはご相談させていただけると思いますので。

(議長)

来年度のその 2部活試しは事務局の方で負担をするということですので。やってみてその中でいろいろ改正とかその辺はこうした方がいいのではないかとかいうのが出てくるとと思いますので。いかがでしょうか。

(委員 3)

アプリケーションは指導者と登録は保護者ですか、生徒ですか。

(事務局)

保護者・生徒・外部指導者・本部という形になります。

(委員 3)

生徒は登録してはダメですね。

(事務局2)

その連絡もする時、一応保護者間ですね。

(委員 3)

ただそこに生徒が自分のタブレットとか携帯とかで登録するってなると、結構やっぱその地域指導者と、例えば男性で生徒が女性とかだとやっぱそのちょっといろいろ考えないといけなかったもので、うちは外部指導者が男性で、生徒が男子生徒の方がリスクは少ないだろうと思って、今考えてはいたのですが、これはもう保護者が入るのですね。

(事務局2)

一応全部、個人でやり取りができないようにするためにこのアプリを導入する。本部の方から全部見られてしまう感じですし、LINEのグループだと一人取って個別になるんですけど。そういう機能がついてないので、1対1のやり取りはできないようになっています。

(委員 3)

学校で選定するときに、その外部指導者と生徒のその性別は全く考えなくてよいということですね。わかりました。

(委員 1)

もし自分の担当する部活でそれをする場合は、私とその保護者と生徒にも説明をしなければいけないんです。

(事務局 2)

説明はこっちから。

(委員 1)

じゃあそれぞれ部活で、来ていただくといくことですね。

(事務局 2)

その会社の人も来て、それこそ ZOOM になるかもしれないのですが、そっちからちゃんと説明はしますっていうふうに言っていたので。

(委員 1)

子どもたちも理解しとかないといけません。

(事務局 2)

ちょっと時間をかけて、4 月から 6 月まで中体連が終わるまでに 2 年生に最初はちょっと紙で話しながらか、それでちょっと理解していただいたところで説明会を入れてっていうふうには思っています。

(委員 1)

ということは、うまくいかないですか。前半は多分うまくいかないの、今陸上部ではまた違うアプリで繋っているのですが、保護者ですね。それで並行してやっぱ使うようになりますね。

(事務局 2)

3 年生が抜けてからっていうところはイメージしてるんです。

(委員 1)

議長が先ほどおっしゃってましたように色々使ってみて、ああしたいこれがあったら方がいいって、もしはこちらがこう意見が上がれば、その機能が増えていくんですか。

(事務局 2)

その会社自体は、今どんどん増えてきているところらしいんですよね。アップデートして増えていっていてもっとこういうのがいいって言った時に、私たちがこう調べて、他のアプリに全然違うアプリに切り替えることもできますし、絶対このアプリを使い続けますっていうわけではないです。あくまでも検証。皆さんでそれをこう今こうですようどうですかっていうのを来年かけながら説明して行って、じゃあこれで行こうっていうふうに考えていただく場にしたいのです。

(議長)

だからそこを確認していただいた方がいいですよ。この業者さんがカスタマイズできるのか両方を入れてもらえるのか。できますってなればそれでいいと思うんですけど、できなければ別の会社っていうですね。次お願いします。

(事務局 1)

先生方に答申の素案をお配りしております。中学校地域展開方針ということでまだこれは素案ですので、一度お持ち帰りのほど。そしてご意見を集約したいと思います。付け加えた方がいいとかその辺のところこれはおかしいとか、そういうものがあれば。後でまた配りしたいと思いますので、本日書き込んでいただいて、こちらに返していただければと思います。できれば 4 月の頭には答申として教育長に提示したいと思いますので、3 月中にしたいと思いますのでお願いします。なお一応ここで答申を出しますので、推進委員会とします。検討委員会としましては、この 3 月末をもって閉じるということになります。令和 8 年度も続けていきたいと思っておりますので、推進委員会という形で名前を変えて実施していきたいと思っております。ただメンバーの方もまたこちらの方で考えていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。以上です。

(議長)

質問はありませんか大丈夫ですか。はい、というところですね、今日の予定していた項目については終わりとなりますか。

(委員 3)

本校としては、拠点校をやってもいいというところを出してきたのですが、それについてはもうないというところよろしいのですかね。

(事務局 1)

8 年度をかけて。

(委員 3)

また一年先延ばしにするということですね。うちとしては、4 月からやれるならばやっていきたいというところがあったけれども、それはできないということ。

(事務局 1)

両方に部活動がある限り拠点校にすることはできない。

(委員 3)

A中の柔道部が例えば 4 月から教育委員会と学校の協議の結果拠点校としてB中でやっていきますというのを、今度の 3 年生と 2 年生の生徒に伝えて、4 月から部としては、その制度が出られなくなるわけではないので、B中を拠点にしますと言えば、別にできなくはないと思うのですが、その話がまだ私もたちも校長とも話をしてないので、それを進めるのであれば、別にできない話ではないかなと思います。ただやっぱりいきなりトップダウンで出すのか、その生徒、保護者にそれを説明して、4 月からゴーサインを出すのかっていうところかなと思うのですよ。

(事務局 2)

令和 8 年からするとすると、多分教育委員会の方からそういう拠点校の要綱とかを出さないといけないと思うのですよね。だから今言って教育委員会が 4 月からそこができないので無理ですっていうところですね。地域移行型部活動として拠点をするために 4 月から意向調査を行います。ルールを決めていって、ここですね。ここで挑戦して生徒さんにも周知してその次の年からできるように持っていくべきなのではないかというのを学校の先生方、校長先生方とお話をして、それはすごく感じたところだったと思う。こういうスケジュールを立てています。令和 8 年度どうしてもやりたいってなると地域移行っていうのはちょっと外して考えていただく方形になります。でもそれは学校教育課との話として要綱ができていないので、学校教育課からは無理っていう話になったので、一応やっぱり 1 年間待っていただくっていう形になります。

(委員 3)

あと、もう一点いいですか。この間もちょっとお願いしたのですが、競技団体ごとにぜひその説明をして外部指導者や教員外指導者そういう方々と広く募ってほしいってことをお願いしていたのですが。

(事務局 2)

後ろから 2 枚目の資料を見ていただいてこちらの方がですね今競技団体の方にお声掛けをしたい、今後声をかせていこうと考えているところになっています。スポーツ協会 21 団体でございますが、そこは 3 月 24 日に説明に行って、そこで直接お話をしていこうと思っております。

(委員 3)

それぞれの協会で説明をしていただけるということですかね。ちょっと私の要望としては、その中

学校校区単位でもうなんか担当者でもこう決めていただきたいということをお願いしていたのですよね。そういったことができるのかなというところですね。例えば剣道だったら、この人とか柔道はこの人というところを競技団体ごとに出していただいたりして、そこでしっかりとした人材を確保できればいうところをお願いしていたかと思うのですが。

(事務局2)

なんでやっぱこの3月24日、その会議のところに行って説明をしてという形を今取ろうと思っています。

(委員3)

それは、どれくらいの人数がいらっしゃるのですか。

(事務局2)

各競技団体から理事さんが集まりますので、21団体の理事が。

(事務局2)

スポーツ協会に対してもあくまでもお願いになるので、しなさいという強制力はないので。そこですよ。結局だからここで一旦その理事の方々にお願いして話を揉んでもらってまたお願いしてという形です。それもここの中にちょっと入っているのですが、団体のここですね。これ団体登録の仕組み作りって書いているんですが、ここに関してもどの競技も同じようにはできないと思うので、じゃあそれこそ先生の検討からお願いしますっていうふうになんかモデル的にやっていて仕組みを作るとかいうのは大事なのかなと思います。そこもこの一つに入れてあります。今一生懸命こう周知をしているだけの状態で、正直まだこういうシステム的なものができてないので、じゃあこうしましょうっていうその先が進められない状態にはあります。ただその謝金のこともですね。やっぱ今周知して、その後決まってきたところからどんどん本格的にお願いができるのかなと思っています。

(委員3)

今度の土曜日に日曜日かな、合志市剣道大会があるので、その時に剣道に関係者から私から説明することはできます。もちろんですね。どこまで説明をお願いしていいのか、例えばもうアプリ登録をたくさんさせた方がいいということであれば、その時も全員に配ってからアプリ登録してくださいってその場にしてもらえば。そうそれだけでいいのか、それともさっき言ったようにも、それぞれの校区ごとに担当者を決めて、じゃあもう先生ここやってくださいねっていうところまで決めた方がいいのか。今の話で言うと登録だけ行ったかいいのかなと思っています。

(事務局2)

今の時点ではサポーターバンクにお名前を入れていただきたいです。

(委員3)

剣道の大会があるので、じゃあもう全員そこで入れてくださいという形でその場で入れてもらえばいいということですね。

(事務局2)

団体の仕組みができた時に、そこをひとまとめにして、じゃあこうしましょうっていうのができていくので、とりあえず個人でどんどん入れていただけると団体でここ団体にできそうだなっていうも分かってくると思うので。

(委員1)

前後しますけども先ほどの拠点校部活動の件ですけども、例えばさっきB中に柔道が拠点校に

なった場合、いわばもちろんC中は柔道部がありませんので行くことができることになると思うのですよね。今1年生の男子の1人柔道でいるのですけども。それに加えて、来年とC小学校からC中学校に入る子の中で柔道をしている子が私はA中学校にいた時には、A中に通いたいけども、剣道があるからD中という思いなんですよ。以前もお話したけども、そういうふうな見通しを持てるのだったら、じゃあA中に残ったままD中の剣道とかさっきの話に戻ると柔道はD中の拠点校にいくが、C中に通うとかいうこともいろいろ選択肢が増えてきたりとかもするんですよ。じゃなくてもD中に越境して柔道したいとかいう考えも出てくると思うんですけどね。それが決まってしまった後では、そういうんだったらもう早く言ってくればっていう話にまた保護者さんがなると思うんですよっていうことは説明会をしてくださるんだろうと思うんですけどその時は小学6年生の保護者とかも。

(事務局 2)

小学5,6年生から。

(委員 1)

その説明はまた教育委員会の方でやっていただけということ。

(事務局 2)

それこそ多分先生、保護者、子ども全部意見が違うのかなと思うので、それぞれに集めるフォーラムを設置しようと思っております。そこで集めてお答えしていくような感じ。

(委員 1)

でも早い方がいいですね。

(事務局 2)

ある程度形ができないことには、その説明のしようがないっていうのがあるんで、今時点ではまだ拠点校をどうするのかっていうのも決まってない。謝金のことも決まってない。じゃあ合同部活動はどれにするのか学校の意思がわからない状態なので、やっぱり1年かけて考えて説明を入れてというところにはなるので、もうなるべく早くまあそれこそ9月前とかにですね、全部まとまれば、それこそ前倒しにして説明はできると思うんですが。

(委員 4)

早めにこの移行というか計画を出さないとおそらく5年生とか4年生の子どもさんたち令和13年ぐらいですかね。完全スタートがそこら辺を早めに出しておかないとあの小学校の保護者の方から結構聞かれるんですよ。どうなるんですか。中学校終わってPTAの定例会なんかでも中学校の定例会の中で結構話題になっているのですよね。早めに計画的なやつを出していただいて、まだ決まってないところは決まってないでいいと思うんですよ。でも情報を出していかないと保護者が悩まれると思うのですよ。クラブにいれた方がいいのか。

(事務局 2)

スケジュールを3月で出すのは大変ですか。安心安全メールで。

(委員 4)

例えば問い合わせ、あの詳しい問い合わせはどこっていうふうにしていただいとくと、とても助かります。

(課長)

8年度の詳細の部分は市の予算とか保護者の方には関係ないような部分もありますので、もう一度精査して伝える必要がある部分に関して出していくような形になります。

(委員 4)

中身が決まっているところだけでいいと思うんですけど、回答の仕方を一本化しておかないと、例えばA中学校はこういうふうに答える捉え方がやっぱ多分違うと思うんですよ。学校であの事情も違うしお互いバラバラな返答していたら、おそらくこれ混乱すると思うんですよ。私もまだかなり読み込まないと理解できないところがあるので、その答える窓口を一本化しとった方が混乱が最小限にと止められると思うんで、ぜひお願いしたいと思います。

(事務局 2)

フォームを作るということでよかったですか。全部、生涯学習課の方で集約して解答するという形はをとらせていただきます。

(議長)

質問事項については、生涯学習課のホームページにて投稿していただくとそれについて生涯学習課の方から教えていただくと。一本化を図るということでよろしいですね。

(委員 3)

もう一回確認ですけど先ほどの例えば学校から教員外指導者をお願いするというのが今ここにある名簿がありますよね。この方だと思った時には生涯学習課の方をお願いしていけばいいですね。このこれはいつからいいですか。

(事務局 2)

これを今日、明日、明後日ぐらいまでにはこれをデータで学校に送ります。

(委員 3)

もうそれから、すぐこの人と思った時にもう一回でも競技団体ごとに説明しますよね。それもサポーターを増やすためにするんですよ。その後にもまた増えるということですよ。またその名簿がいつまでに来るとかいうのがありますか。例えば、もう今後で言うなら、4月になれば新たな部活動がスタートしていくわけで、その前にやっぱりいいところの部活をお願いしたいんですよ。そうなった時にいつまでというそのスケジュールが分かると、じゃあこのタイミングでまた次の方っていうのがお願いできるのかなと思うんですよ。今のこの人数だけだとちょっとまた足りないような気もするんですよ。だからその24日の競技団体ごとについて、じゃあいつまでにできればいれてくださいとお願いをしないとそれはずるズルズルとってしまっ。

(事務局 1)

学校としてはいつまでがリミットですか。

(委員 3)

4月には欲しいですね。4月の頭には欲しいなとは思ってます。

(事務局 2)

一旦切ればいいんじゃないですか。その3月末かなんかで切って、4月の頭には一旦下ろすで。4校からのが揃わないといいですよと言えないので、1校だけで言われてもそこにすぐっていうわけにはいかないの。

(事務局 2)

3月末、今まだだんだん増えてはいますもんね。なので3月末の時点でもう一度お渡しします。そこで先生方を一斉に4校一斉に事務局にください。そこで精査してどうぞ。その後も絶対増えます。目標として100名は増やそうと考えていますのでいやもうそれ以降にはいらないよともう今更言ってもらってもそうよって言われる学校は言ってください。そこにはもうお伝えしませんので。

令和 8 年度に関してはですね。いつでもいいから誰かいい人来たら教えてって言われる方じゃもう随時学校にお知らせしていくっていう令和 8 年の形ですね。今ここに作っているのは、学校を周った時に、その来年度正直あてにしていたというお声が多かったのも、じゃあ今登録していただいているサポーターの方をご紹介しますというところで、この形を作りました。もっともういらないもっと欲しいっていうのは随時ですね。まああのコミュニケーション能力というかなんていうかですね。先生方ともっと話していちよつと本当にまだ欲しいっていうのはちょこちょこ言っていただくとこちもそれに気をかけてお声掛けもしますし、そういう形でお願いできませんでしょうか。よろしいですか。

(議長)

他にございますか。はい、じゃあ以上で議題の方は終わりました。時間のあたりですね。

(事務局 1)

ご協議いただきましてありがとうございます。一応ですね。次の予定としましては、5 月 15 日推進委員会の予定としておりますので。また、改めましてご案内を申し上げたいと思います。では本日はどうもお疲れ様でした。ありがとうございました。